



補習、受験を問わず塾の話題が始め、いろいろご検討に入る時節ではないかと思えます。今回は、あざみ野南の川手先生の中学受験体験記をご覧ください。2年前に投稿させていただいた内容の再投稿ですが、当時未入会、もしくは受験の意識がなくスルーされた方もいらっしゃると思えますので改めてご覧ください。 代表 齋藤 和宏



～中学受験の心構え～

中学受験を志すにしても、受験対策塾では最初は基礎固め、基本の定着からスタートします。基礎が固まっている生徒は早くに受験対策に入れますが、固まっていない生徒は受験塾に入ったところでそこに多くの時間が費やされてしまいます。中学受験に結果が出せなかった生徒に塾が言うお決まりのセリフがあります。「もう少し早く準備を始められていたら間に合ったと思うのですが、ちょっとだけ時間が足りませんでした…」自分たちは悪くない。準備が遅れたあなたのせい。あなたがち誤りではありません。基礎が固まっていなかったから応用、対策問題が十分でできなかった。確かにその通りかもしれません。でも、その基礎って早く受験塾に入っていれば固まるものなのでしょうか？計算の速度や正確性、語彙、文法、文章読解能力といった学習の基礎はできて当たり前前提ですから受験塾では教えてもらえません。したがって、結局は塾の力を借りずに自分の力でしっかり基礎固めをするしかないのです。

中学受験の世界では、一昔前は小4から準備開始が当たり前でした。それがいつの間にか小3以下でも受け入れる塾が増えてきました。「テストが難しくなって、早くから準備を始めないと間に合わなくなってきているんです。」塾はそう言います。しかしその実態は、少子化や塾同士の過当競争の中で、生き残り対策として間口を広げているだけに過ぎません。繰り返しになりますが、受験塾において、基礎が固まっていない生徒はいつまでもそこに時間を費やしてしまいます。小学校低学年のうち、まずは基礎基本の定着に集中すべきと私は思います。

中学受験は子ども次第ではなく、家族全員でのチャレンジです。あざみ野南室の川手先生には2人のお子さんがいて、ご長男は東京大学、ご長女は慶應義塾大学にそれぞれ進学されています。川手先生の中学受験体験記をコラム形式でお伝えします。皆様と家庭環境など違う面も多々あるかとは思いますが、ご参考になれば幸いです。

我が家の中学受験体験記 あざみ野南室 川手 園子

【長男、長女の中学受験】

もともと息子の中学受験は考えていませんでした。ところがある日、息子が電車の車内広告「某塾の算数問題」で、塾に通っている友達が解けて自分が解けなかったのがよほど悔しかったらしく、「塾に行こうかな」と言い出しました。家族会議で中学受験をする強い意志と体力があるかを長男ととことん話し合い、小5の途中からサピックスに中途入塾することになりました。

中途入塾なのでいきなり週3回の塾通いに慣れるのは大変でしたが、夕食はお弁当持参ではなく帰宅後に家という方針だったので、塾に行く前に腹持ちする軽食（焼きそば、焼きおにぎり、ピザ等）を食べさせ、塾には車で送迎。小5の2月以降は平日2日、土日の週4回となりました。ここでようやく志望校別のクラス分けがあり目標が見えてきます。授業は17時から21時ですが、小6になると授業が延長され22時頃に終わることもあり、夕食とお風呂を終えると深夜を過ぎていました。

3、4年生から通っていた息子の友達の中には体力的、精神的に息切れしてくる子がいて、後から入った子たちが上のクラスに上がっていくのに対し、息切れした友達がどんどんクラスが下がり焦って精神的に追いつめられてしまう子が出てきました。家族のサポートがあつての中学受験ですが、親が介入しすぎてしまう事は避けなくてはなりません。子どもは親の期待を裏切つてはいけないうプレッシャーを少なからず感じています。成績の上がり下がりには一喜一憂せず、そっと見守ってあげてください。また、塾送迎時に留守番を強いられる事になるので家族（特に弟妹）の理解も必要です。親としてのサポートは塾の送迎、健康管理とご飯作りです。息子は夕食を一日の終わりで最も楽しみにしていたので、豪華かつ消化の良いものを用意しました。中学受験後、息子からは「お母さんのおいしいご飯が励みだったよ、ありがとう！」と嬉しい言葉がありました。

「兄が中学受験したから」という安易な理由で、娘はゆとりをもって小3からサピックスに入会しました。小4で週2回になった頃から休みがちになりました。案の定息切れです。数か月間行ったり行かなかったりが続き、クラスもかなり下位に落ち目標を見失っているようでした。塾の退会も視野に娘と話し合いました。その結果少し気が楽になったのか、本人が継続を希望したので、娘の様子を見ながら本人のペースで通塾させることにしました。結局、娘が本格的に通塾を始めたのは小5になってからでした。

【受験を振り返って】

まず、通塾の目的の意思確認をはっきりとさせることがとても大事だと思います。「友達が行くから」「兄が行っているから」「親が勧めたから」は後々不安定になるケースがあります。あくまでお子様自身が目標を持ち、中学受験をしたいという意志がはっきりしていることが最も重要な気がします。塾に早くから入れて安心し、ゆとりをもって中学受験に臨みたいと考えてしまいがちですが、小学生が受験生活を3年も4年も継続するのはとても大変なことです。入塾に適した時期は子供によって違いますので、必ずしも早ければいいというものではないと感じました。そして、もしお子様が途中で挫折してしまったら、塾通いをやめるという選択肢も残しておいてあげてください。その方が、親も子供も根を詰めずに受験に臨むことが出来るような気がします。

最後に…お忙しいとは思いますが、科学館や動物園や旅行など、子供たちの興味や好奇心を刺激するような場所に、是非たくさん連れて行ってあげてください。子供のエネルギーの源泉は、興味や好奇心に他なりません。

神奈川県では昨今公立高校の躍進が目を見張り、東大合格者数のTOP10に公立高校が4校ランクインしています。特に県立横浜翠嵐高校が東大合格者数40名を超え、私立の聖光学院、栄光について神奈川3位に躍り出ています。また、私立大学受験者はかつてと異なり、AO入試や推薦入試で入学をする学生が約半数を占める時代になっています。これらのことを考慮すると、必ずしも難関私立中学へ進学することだけが、受験のゴールとも言える「難関・有名大学合格」を手中に収めるためのパスポートとは言えなくなっているのかもしれない。とは言え、横浜の青葉区、都筑区は全国でも中学受験率の高いエリアです。もし中学受験を希望されるのであれば、是非ガウディアや速読・育脳でしっかり基礎固めを行い、満を持して受験に臨んでいただければと思います。小学校低学年での基礎固めは、必ずその後の伸び代に繋がっていきます。

スライムギャラリー♪



ハロウィンの準備が
始まりました



やっぱり外遊びは楽しいね♪



子ども達による企画、司会のお誕生日会

★HAPPY★
BIRTHDAY!



お誕生日おめでとう!!

～プライムキッズからのお願い～

●定期的にガイドブックとQ&Aのご確認をお願い致します●

【特にご確認いただきたい内容】

○ご利用内容の変更（スポット、ミール、事前にわかっているお休み、キャンセル等）は前日の15時が締め切りです。

（月曜日は前の週の金曜日）

○当日の延長利用のみ、当日の18時が締め切りです。ギリギリのご連絡は業務に使用が出ますのでご遠慮ください。

○振替え利用は月に2回までです。またお休みの後1カ月過ぎると権利は消滅します。

○ご利用予定表の期限提出は必須です。お忘れなようお願いします。

○月単位での変更（回数、曜日、退会等）は前月の10日が締め切りです。

・・・急な変更には融通を利かせるよう配慮しておりますが、極力ガイドブックに基づいた運用をご協力お願いします。

●ハロウィンパーティー●

中川 10月25日(水)、あざみ野南 10月27日(金)恒例ハロウィンパーティーを開催します。この日はTrick or Treat、お楽しみ企画、そして英語の授業と合体したEnglishTimeを開催します。仮装も自由です。皆さん奮ってご参加ください!

○参加の有無は予定表②で確認します。

○参加費は無料です。(おやつ代のみ)

○仮装(任意)のお着替えは前日までに教室にお持ちください。お名前を書いた紙袋に入れていただくと助かります。

当日、スタッフは準備があるため、仮装のお手伝いできません。仮装する場合は、自分でお着替えができる衣装をお持ちください。また、衣装に合わせた髪型にするようでしたら、登校前にセットしておいていただくよう、お願いします。

プライムキッズステーション
ホームページ
<http://www.primekids.jp>



○プライムキッズ日常の様子をホームページからご覧いただけます。

○ホームページから、ガイドブックや各申請書がダウンロードできます。